

再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名	一般国道30号 <small>こじま たまの</small> 児島・玉野拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自： <small>おかやまけんおかやましみなみくとうしんでん</small> 岡山県岡山市南区当新田 至： <small>おかやまけんたまのしだい</small> 岡山県玉野市田井	延長	15.0km		
事業概要	<p>一般国道30号は、岡山県岡山市から玉野市を経由し、瀬戸内海を渡り香川県高松市に至る延長約26.4km（陸上部）の主要な幹線道路である。</p> <p>児島・玉野拡幅は、一般国道30号の交通混雑の緩和および交通安全の確保を目的として計画された、岡山県当新田～玉野市田井に至る延長15.0kmの4車線の現道拡幅事業である。</p>				
S45年度事業化	S50年度都市計画決定	S45年度用地着手	S58年度工事着手		
全体事業費	約357億円	事業進捗率 (H21年度末現在)	97%	供用済延長	14.3km
計画交通量	19,500～50,900 台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (3便益) （事業全体） 1.2 （残事業） 6.6	総費用 （残事業）/（事業全体） 8.6 / 775 億円 （事業費 : 6.5/681億円 維持管理費 : 2.1/ 94億円）	総便益 （残事業）/（事業全体） 56 / 948 億円 （走行時間短縮便益 : 50.856億円 走行費用減少便益 : 4.6/ 45億円 交通事故減少便益 : 1.3/ 46億円）	基準年	平成22年
感度分析の結果	<p>残事業について感度分析を実施</p> <p>交通量変動 : B/C = 7.1 (交通量+10%) B/C = 6.0 (交通量-10%)</p> <p>事業費変動 : B/C = 6.1 (事業費+10%) B/C = 7.1 (事業費-10%)</p> <p>事業期間変動 : B/C = 6.3 (事業期間+20%) B/C = 6.8 (事業期間-20%)</p>				
事業の効果等	<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 損失時間の削減が見込まれる ・ 現道における混雑時旅行速度の改善 ・ 利便性の向上が期待できるバス路線が存在（当新田を通過するバス 上り：158便/日 下り：152便/日） ・ 玉野市から岡山駅（新幹線駅）へのアクセスが向上 ・ 玉野市から岡山空港（第三種空港）へのアクセスが向上 <p>②物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 岡山市方面から宇野港（重要港湾）へのアクセスが向上 <p>③都市の再生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地内で行う事業（DID区域内） <p>④国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡（玉野市～岡山市） ・ 日常活動圏の中心都市へのアクセスが向上（岡山市灘崎町（南区役所）～岡山市役所） <p>⑤個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する（宇野港再開発事業） ・ 主要な観光地へのアクセスが向上（玉野・渋川への入込み観光客数（H21）：213万人/年） <p>⑥安全で安心できるくらしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三次医療施設へのアクセスが向上（玉野市～岡山赤十字病院） <p>⑦安全な生活環境の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 死傷事故件数の削減が見込まれる <p>⑧災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1次緊急輸送道路に指定 <p>⑨球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CO2排出量の削減が見込まれる <p>⑩生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NOx排出量の削減が見込まれる ・ SPM排出量の削減が見込まれる 				

関係する地方公共団体等の意見

本道路の整備により、岡山都市圏と玉野圏域との連携・アクセスが強化されるため、関係する市(岡山市、玉野市)の首長で構成される国道30号整備促進期成会(H17.8.5)等より強く要望されている。

岡山県知事の意見：

一般国道30号 児島・玉野拡幅について、継続するとの対応方針(原案)案については異存ありません。県都岡山市と港湾拠点である宇野港を有する玉野市の連携・アクセス強化、広域交流や地域活性化を図るためにも、本事業の早期完成が必要である。

岡山市長の意見：

一般国道30号 児島・玉野拡幅の再評価に係る対応方針(原案)案については異議ありません。なお、当該路線が整備されることにより、港湾拠点と岡山都市圏との連携・アクセス強化、広域交流が促進され、地域の活性化に大きく寄与するものと期待しておりますので、計画通り平成24年度の事業完了に向けて整備促進が図られるよう要望します。

事業評価監視委員会の意見

事業者から事業の概要、評価結果及び対応方針(原案)について説明を受け、事業が適切に実施されているか審議を行い、審議の結果、再評価対象の事業は適切に実施されており、事業継続とすることとした事業者の判断は、妥当であると意見集約した。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

全線4車線化されたが、周辺開発等により岡山市当新田地区周辺は朝夕ピーク時に交通混雑の発生や、交通事故が多発している等、円滑な経済活動や物流活動に支障をきたしている。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成21年度末で用地買収については98%完了している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

投資効果の早期発現を図るため段階的に整備しており、残り約2年で完了予定である。

施設の構造や工法の変更等

耐候性鋼材を使用し、維持管理コストの削減を図っている。

【約0.4億円の減少】

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。